

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月17日

【評価実施概要】

事業所番号	870102183		
法人名	株式会社 伊藤建設		
事業所名	グループホームひかり		
所在地	水戸市小吹町267-43 (電話) 029-240-3511		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年11月15日	評価確定日	平成20年6月17日

【情報提供票より】 (平成19年11月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年11月3日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	8 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 6.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	250 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成19年11月6日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	6	要介護2	6		
要介護3	3	要介護4	2		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 74.4 歳	最低	58 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	久野産婦人科医院	尾山歯科
---------	----------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは「自分がされて嫌なことはしない」という運営方針のもと、利用者の生活のペースにあわせたケアを行っている。
 食事は、利用者の希望を聞きながら職員が調理し、おいしそうな盛り付けと食べやすい工夫をしている。
 また、利用者職員が談笑しながら食事をし、温かみのある家庭的な雰囲気となっている。
 管理者や職員は認知症ケアにかける情熱と調査員のアドバイスに積極的に耳を傾ける姿勢を持ち、質の向上に前向きな姿勢がうかがえる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「理念」を掲示し、玄関廻りに植物の寄せ植えやベンチなど配置し、気軽に入れるよう改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を全員で行っている。 今後は、サービス評価の意義や目的を理解し、生活空間づくり・ケアサービス・運営体制等評価を活かして具体的な改善に取り組むことが望まれる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。 会議では自己評価、外部評価の結果や利用者へのサービス提供状況を報告し、参加者と意見交換を行っている。 運営推進会議の内容を職員に説明し、サービス向上に活かしている。 職員で討議した意見を記録に残し、改善の取り組みに活用する事を提案する。 市と連携を図るには至っていないので、介護相談員の受け入れや行政にパンフレットを置くなど、ホームへの理解を深める取り組みを期待する。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族に利用者の様子を電話で連絡しているが、ホームの日常生活の様子などを記した広報誌を作成し、利用者のホームでの暮らしぶりを伝えることを期待する。 家族の訪問が少ない中で、色々な意見や相談の声を出しやすくするため、意見箱を設置している。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>小学校の子どもたちが育てた花の苗を分けてもらい育てている。 また、敬老の日には子どもたちから手紙が届き、地域の行事の中で盆踊り等に参加するなど、地元の人々との交流に努めている。</p>
重点項目④	

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分がされて嫌なことはしない」という利用者本位の生活支援をすることを理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝・夕の申し送り時やケアカンファレンス時など折に触れ、理念の意義を確認し、具体的な実現をケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校の子どもたちが育てた花の苗を分けてもらい育てている。 また、敬老の日には子どもたちから手紙が届き、地域の行事の中で盆踊り等に参加するなど、地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行っている。	○	今後は、サービス評価の意義や目的を理解し、生活空間づくり・ケアサービス・運営体制等、評価を活かして具体的な改善に取り組むことが望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。 会議では自己評価、外部評価の結果や利用者へのサービス提供状況を報告し、参加者と意見交換を行っている。 会議内容を職員に説明し、サービス向上に活かしている。	○	職員で討議した意見を記録に残し、改善の取り組みに活用することを提案する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市と連携を図るには至っていない。	○	介護相談員の受け入れや行政にパンフレットを置くなど、ホームの理解を深める取り組みを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族に利用者の様子を電話で連絡している。	○	ホームの日常生活の様子などを記した広報誌を作成し、入居者のホームでの暮らしぶりを伝えることを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問が少ない中で、色々な意見や相談の声を出しやすくするため、意見箱を設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は少なく安定している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修を実施するまでには至っていない。	○	職員のレベルアップを図るため、新規採用時研修や経験に応じた研修を受講できる環境や体制づくりを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入するとともに、管理者が近郊の同業者と交流しており、得られた情報をホームの向上に取り入れている。	○	管理者ばかりでなく、職員間同士の交流も望まれる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者は体験入居の後、本人・家族共に納得してから入居している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が得意分野で力を発揮できるよう支援している。 カラオケを楽しんだり食事の準備・片付け等を職員とともにやっている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者との日々の会話の中から希望や意向を把握し、一人ひとりの希望にそった支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者一人ひとりの気付き、問題点等について意見を出し合っているが、家族等と話し合うには至っていない。	○	利用者本人や家族ばかりでなく利用者の現状や希望を理解している職員の意向を踏まえた作成が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回モニタリングを行い、介護計画を見直している。	○	介護計画の見直しに記録の内容を反映し、本人、家族の理解も得られるよう取り組むことを期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や買い物等、利用者のその時々々の要望に応じた柔軟な支援を行っている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保し、健康管理のために月1回の受診支援を行っている。 医師の往診の際には利用者の健康管理に関するアドバイスを受けている。 また、歯科医による往診を受け入れている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医師や利用者の家族等と話し合うまでには至っていない。	○	「看取りに関する指針」について職員間や入居者の家族、医療機関等と話し合いを行うとともに、利用者の重度化や終末期の介護支援に対する早期の取り組みが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は一人ひとりの誇りとプライバシーを尊重しながら利用者の支援にあたっている。 記録などの個人情報事務室にて保管し、情報漏れがないよう配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者一人ひとりのペースに合わせて、希望にそって支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者が食事の準備や後片付け等、各自の役割を果たせるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴は週2回午前中と決まっているが、希望によりいつでも対応出来るよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の活力を引き出す楽しみ事や役割への取り組みが十分とはいえない。	○	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、本人の得意なことやできることを見出すとともに、自分らしく生活が送れるよう場面づくりを行うことを期待する。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調に注意しながらホーム敷地内を散歩したり、近くの田んぼや畑などに出て近隣の人たちと話をしている。 また、本人の希望により外食やドライブ・買い物等の外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は外からは自由に入れるが、中からは安全対策のため施錠している。	○	利用者一人ひとりの外出の癖や傾向をつかんで対応することを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自動火災報知機を設置しているが、避難訓練等の実施には至っていない。	○	消防署と連携して避難訓練を行うとともに、災害マニュアル等を作成し、利用者がスムーズに避難出来るよう訓練を重ねることを期待する。 また、近隣の人たちにも協力を依頼することを提案する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者一人ひとりの食べる量や栄養バランス・水分量を把握し、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。	○	専門家の意見を取り入れた献立作成が望まれる。 また、毎日の水分摂取量を記録することを提案する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や玄関廻りなどに季節の花を飾り、心地良い空間となるよう工夫している。 また、廊下には利用者が外出した時の写真を貼り、楽しみを思い出させている。		利用者が休憩等ができるよう、廊下の一角や空間を活用し、ソファの設置などが望まれる。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせる工夫が十分とはいえない。	○	馴染みの物の持込の少ない利用者が見うけられるので安定して暮らせるよう、さらに家族に協力への依頼を期待する。

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。